

交換・派遣・認定留学 帰国報告書

学部・学科 *

経営学部

留学先国名 *

オーストラリア

留学先都市 *

ブリスベン

留学先大学 *

クイーンズランド工科大学

留学先所属学部

経営学部

留学期間（〇年〇月～〇年〇月） *

2024/ 2 ～2024/ 1 1

学年（出発時）

三回生

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

____ / ____ / ____

1.留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

私は一学期に大学付属の語学学校、二学期に大学で専門科目を学ぶプログラムに参加した。大学は多国籍な校風であったが、クラスには現地人が多い印象であった。教師も多国籍で、私が受けた授業では中国人や台湾人、スリランカの先生もいて、逆にオーストラリア現地人の先生は少なかった。QUTで私が勉強していたビジネス学部はオーストラリアで初のトリプルクラウンを獲得したこともあり、とても質の高い授業であった。また、学校がReal Worldを謳い文句にしており、大学の授業もReal worldを意識した、実際のデータを集めて分析するという授業が多かった。授業はLectureとTutorialがあり、課題の提出や授業予定、授業録画などは全てQUTの学生ポータルサイトがアクセスでき、とてもハイテクで進んでいると感じた。

一方で、授業はオンラインでも受けれるため、対面で学校に来る人は少なく、最終的にはクラスには数人しかいないということも多かった。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

私は一学期目に英語のクラスに通い、大学でのレポートの書き方やグループワーク、ディスカッションの仕方などを学んだので、その大学付属の語学学校でサポートを受けた。また、語学学校で先生は定期的に生徒と成績について、一對一の面談が行われ、どうしたらいいのかなどのサポートを受けた。大学では、授業についていけなければ、字幕付きのレコーディングがあったので、それを聴いていた。

勉強面でのサポート

先ほど述べたように、語学学校ではとても手厚くサポートをしてもらった。大学はもっと個人的で、もし質問があれば、LectureやTutorialの先生に授業後質問ができ、特にTutorialは少人数クラスで、課題の進め方が説明されたり、授業中で取り組んだ小課題を発表したりなど、講師との距離感がより近かったので、Tutorialの先生に質問することが多かった。

精神面でのサポート

図書館にHIQという、学生のあらゆることをサポートする何でも屋のような部門があり、オリエンテーションでは「どんな困りごとでもHIQへ」と言われたので、HIQに行けば大丈夫だと思う。

生活・住居面でのサポート

先ほど述べたような、HIQや、図書館の一か所に住居や保険をサポートする部門があった。QUTは大学寮がなく、QUTを通して学外の民間の学生アコモデーション(Student accomodation)があり、私はそこに入居し、住居内でトラブルや困りごとがあれば、そのアコモデーションのスタッフに相談した。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

通常の大学は大学寮がある場合が多いが、QUTはなく、事前に全て自分で学生アコモデーションを見つけなければいけず、ロケーションや値段がアコモデーションごとで全く異なり、アコモデーションもたくさんあるので、CoEを受理したら、早めに見つけることをおすすめします。

近年、オーストラリアのCity全域(主にブリスベン、シドニー、メルボルン)では家賃が急上昇しているので、住居代は一週間で400\$し、とても高かったなので、QUTに限らず、オーストラリアに留学するときには、留学を決める前に、大学の情報とともに、住居代をよく確認するべきです。

また、アコモデーションは寮とは違い、基本的にどのアパートメントも食事は提供されず、食器や寝具は備え付けでなかったなので、自分で全て購入し揃えなければいけない。食器や寝具はアコモデーションで購入できるが、割高なので、KmartやTargetなど、何でも売ってる安価のホームセンターで購入することをおすすめします。また、アパートメントによっては調理器具が備え付けの場合があるが、全て自分で自炊なので、予めタッパーや日本の調味料を持っていくこともおすすめします。

(2) パソコンについて

PCの保有状況

- ☒ 日本から持参した
- ☐ 現地で購入した
- ☐ 保有しなかった

Wi-Fi の有無

☒ 有

☐ 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

WIFIは無料。接続も問題なし。

大学でのPCの使用可否

☒ 使用できた

☐ 使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

(3) 医療について

Health Center（大学内施設として）の有無

☐ 有

☒ 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

受診しませんでした。夏でも日中と夜間の寒暖差が激しいので、風邪をひきやすいです。現地の薬は高いので、予め持って行った方がいいです。コロナは流行っているという情報は聞いたことがありませんでしたし、コロナにかかった友達はいませんでした。一人の友人はインフルエンザにかかりました。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

CommonBank という銀行でしました。銀行は家賃のBondを入居後、返金されるので、そのために作りました。銀行開設は直接銀行に行き、必要書類などは予め調べて用意しました。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

オーストラリアは多文化で色々な文化がミックスされ、オーストラリア人といってもアジア系やヨーロッパ系など、様々な人種が多いので、寛容な雰囲気を感じた。また、オーストラリアは個人主義なので、当たり前だが自分から声を掛けないと友達は作りにくいと感じたが、ブリスベンには留学生、外国人のためのコミュニティが多く、ほとんどの留学生友達は友達がいたので、友人づくりは問題ないと思う。留学中は、英語の無料授業を受けるため、教会に毎週通っており、バイブルについても少し勉強し、キリスト教の考え方も触れることができ、とても貴重な体験ができた。

ブリスベンには想像よりもアジア人が多く、市内に行くと、ワーホリをしてる東アジア人（特に日本、韓国、台湾人）がとても多い印象であった。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

はい。ボランティアは友達に教えてもらった教会での食料配布や飲み物の注文、ブリスベンの日本人コミュニティによる Japan Festivalなどのボランティアを経験しました。また、長期休暇には2週間ずつ二軒のファームステイのボランティアをしました（WWOOFというサイトです）。

課外活動は、ブリスベンには留学生、外国人のためのコミュニティが多くあり、計3つのコミュニティによく足を運んでいました。一つ目は、教会での英語教室、フリーディナーで、二つめはMeet upというアプリで見つけた会話クラブ、三つ目は図書館の英語教室です。全て毎週開催され、無料で、学内以外に友人を作ることができるのでおすすめです。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

Brisbane cityは夜でも人がいてるが、ホームレスがそこそこいるので夜遅くまでの外出は控えたほうがいいです。

私は一つのアパートメントを他のルームメイトとシェアしていたので（個室あり）、たまにルールを破るルームメイト（女性だけのルールにボーイフレンドを2週間連れていた）がいたので、その場合は黙らずに、受付のスタッフに報告するとすぐに対処してくれるので、嫌なことがあれば、スタッフを介して報告するのがいいです。

3.後輩へのアドバイスについて

（1）現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

特になし

（2）日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

日本のお菓子、自炊する場合は調味料、タッパー

（3）留学したことによって得られたことについて記入してください。

積極性、コミュニケーション力、思考力

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

IELTS5,5 TOEIC745

留学後－資格試験名称および点数（級）

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

大学からのメールを確認していなかったもので、二学期のいくつかの授業代が払っておらず、ペナルティ代を払ったこと。留学前に授業代を全て払ったが、それは4個中、2個の授業代で残り2個は学期間の長期休み中に払わなければいけず、私はメールがパソコンでしか見られず、通知が来なかったもので、払うことができなかった。こういったケースは留学生の間で多いらしいので、メールは長期休暇中でも定期的にチェックしたほうがいい。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

語学学校：クラスは18人でアジア人がほとんどだった。授業は英語の四技能（リーディング、リスニング、ライティング、スピーキング）を全て扱われた。特に、このコースは大学準備コースなので、大学での授業に向けた、参考文献やレイアウトなどの論文の書き方にとても重視を置き、正しい文章を書くためにリーディングや文法を特に徹底した印象だった。また、ディスカッション、グループワーク（作文や、文法についてのプレゼンテーション）などの取り組みもあった。成績評価は計二回のレポートと、計二回の四技能の試験であった。一回目の試験内容はIELTSに似ており、二回目のテストはintegralというリーディング、リスニングの情報をもとにライティングをするものと、Seinerというディスカッションの試験があった。

大学：クラスはオンラインで受ける人が多かったもので、人数はわからないが、Lectureは多いクラスで30人、少ないクラスで5人ほどだった。初回の授業はもっと多くの人が出たが、授業数を重ねるごとに、減少していった。成績評価は授業により異なるが、4つのうち3つはレポートが二回ずつと、残りひとつの授業はレポートと期末試験だった。成績評価は大学のシラバスで確認できる。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

特にしていないが、マイナビで帰国後に受けれるインターンシップを確認したり、ブリスベンで日系企業の海外駐在をしている社員さんとの座談会に参加した。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1\$100円~120円ぐらい

(2) 航空運賃

CoEが受理するのが遅かったため、片道8万円ぐらいしました。他の日本人の友人は往復で同じ値段でした。

(3) 住居費

住居費（月額）

約16万円

住居費（留学期間合計）

(4) 食費（月額）

6000円ぐらい

(5) 保険料

(6) その他

(7) 留学費用の合計

5.その他 自由に記入してください。

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム